

西東京市 第2次みどりの基本計画

～みどりと人が関わり 健康なまちを未来へ 西東京～

—概要版—

令和6（2024）年3月
西東京市



西東京市みどりの基本計画とは

■目的

都市緑地法第4条に基づき策定され、緑地の保全及び緑化の目標や、その推進のための方針・施策などを定めるものです。

■計画期間

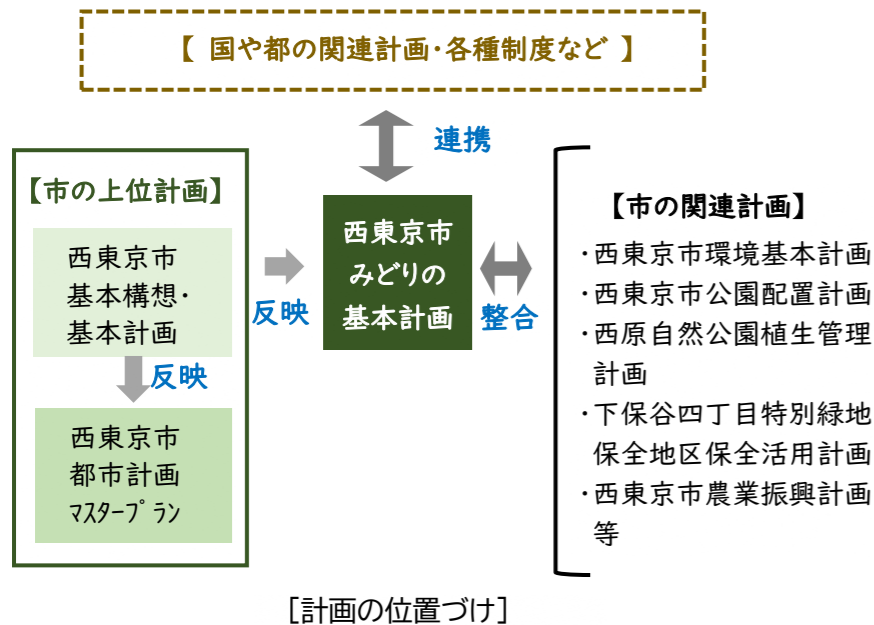
令和 6 (2024) 年度から
令和 15 (2033) 年度まで(10 年間)

■対象

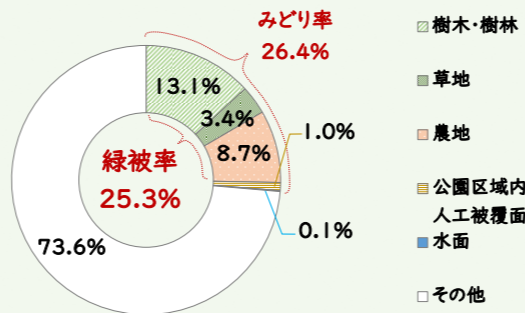
市全域
本計画におけるみどりは、樹木や草花などの植物そのものに限らず、公園・緑地のほか、樹林地、水辺地、農地などを構成する土や水などを含めた自然環境全体のことを指します。

■計画の位置づけ

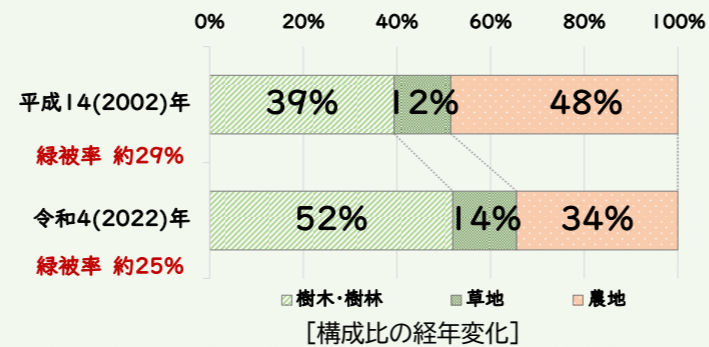
西東京市みどりの基本計画は、市の最上位計画である「西東京市基本構想・基本計画」及び上位計画「西東京市都市計画マスタープラン」の個別計画で、関連計画と整合を図りつつ、国・都とも連携しながらみどりのまちづくりを推進します。



西東京市のみどりの現状

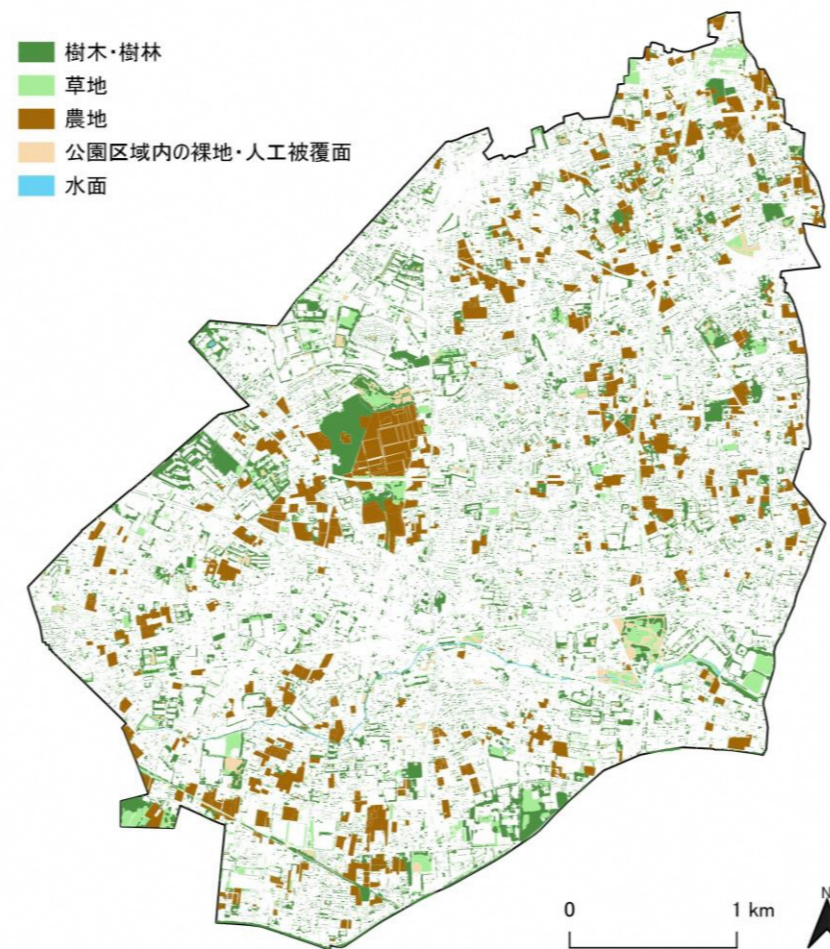


【本市の緑被率・みどり率の構成 (市域全体に対する割合)】



✓令和4(2022)年1月1日時点の緑被率は25.3%、緑被に公園区域内の裸地や水面などを加えたみどり率は26.4%となっています。

✓約20年前の調査時点と比べると、緑被率は約4ポイント減少しており、特に緑被の構成比に占める農地の割合は減少しています。



【緑被分布図 令和4(2022)年度緑被判読調査】

市民の「みどり」への期待と想い

- ✓アンケート結果では、市民の6割弱、市内に在住または在学する小中学生の8割以上が、本市のみどりの多さを感じており、西東京市の人々は、みどりに対する意識が強いといえます。
- ✓みどりへの期待として「防災」や「まちの魅力向上」につながる施策に対するところが大きく、公園の活用についてはさまざまなニーズがあります。

・まちのイメージ

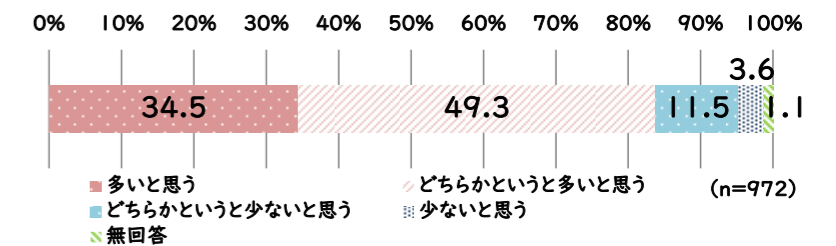
イメージ像	現在のまちのイメージ	
	回答割合 ※複数回答	平成29(2017)年 調査との比較
まちなかの自然(公園、農地等)が豊かである	58.0%	約4ポイント 増加↑

・施策別の満足度・重要度

項目	CS分析
集中豪雨等のいっ水対策	A:重点改善
自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	B:改善
公園・緑地などのみどりの保全・活用	C:重点維持
公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	
農地・屋敷林などの保全・活用	D:維持
環境学習の場や機会の提供	
地産地消の促進などによる農業の振興	
ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	

令和3(2021)年度 西東京市市民意識調査

・西東京市のみどりの量について



西東京市みどりに関する子どもアンケート調査報告書(令和4(2022)年度)

・みどりの使い方に対する意見

- 西東京市公園実態調査報告書(平成28(2016)年度)
施設・環境の不足と利活用における制約などの課題に対し、市民参画の推進や民間企業による管理・活用のあり方などが提案されています。
- 西東京市みどりに関するWEBアンケート調査報告書(令和4(2022)年度)
公園や農地、樹林などのみどりに対する意見や、人材や資金確保の仕組み等に対する意見が寄せられています。

みどりのまちづくりにおける将来像 みどりと人が関わり 健康なまちを未来へ 西東京

みどりの将来像の実現に向けて施策を進めるにあたって、「みどりと人が関わりあうことで好循環が生まれる」ことが求められています。具体的には次の4つの状態が達成されることで、好循環が生まれていきます。

- 1 西東京市の特徴あるみどりが保全・創出され、魅力あるみどりが豊かに育まれている状態
→「西東京市の特徴あるみどりを育む」ことが必要
- 2 多くの人が関わるようになっていく状態
→「みどりを支えたいと想う人を増やし、人の輪を拡げる」ことが必要
- 3 人々がまちなかでみどりに触れる機会が増え、生活や心身が豊かになっている状態
→「市民とみどりをつなげ、人々の心身を豊かにする」ことが必要
- 4 みどりが多くの人の手で、地域や社会課題の解決のために活かされることで、暮らしの舞台となるまち全体も健康になり、西東京市の特徴あるみどりがさらに磨かれる状態
→「まちづくりの多様な分野でみどりを活かし、健康なまちにする」ことが必要

これらを踏まえ、4つの<基本方針>を設定し、施策を進めていきます。

みどりと人が暮らしの中で関わりあうことにより、
豊かなみどりが育まれる好循環



「みどりと人が暮らしの中で関わりあうことにより、豊かなみどりが育まれる好循環」を構成する4つの段階に沿って、本計画の基本方針を設定します。また、それぞれの基本方針について次のような課題が挙げられ、施策の中で対応していきます。

基本方針1 西東京市の特徴あるみどりを育む

… 屋敷林・雑木林、都市農地、文化財等、武蔵野の原風景を形づくる、特徴あるみどりの保全や、魅力ある公園・緑地・街路樹など都市のみどりの育成に向けて、取り組みます。

- 課題
- 風土や歴史など地域の成り立ちを踏まえた特徴あるみどりの継承と活用
 - 生物多様性の保全
 - 民有地のみどりの保全、創出の支援
 - 持続的な管理が必要なみどりへのアプローチ など

基本方針2 みどりを支えたいと想う人を増やし、人の輪を拡げる

… みどりの大切さを共有し、みどりのまちづくりを支える人の輪の拡大に向けて、普及啓発や人材育成に取り組みます。

- 課題
- みどりの価値の評価分析と発信、啓発
 - 市民が関心を持つためのきっかけ作り
 - 既存の担い手の支援、新たな担い手の発掘
 - 企業・行政・市民・地域の連携の拡充 など

基本方針3 市民とみどりをつなげ、人々の心身を豊かにする

… まちの中でみどりと人が関わる場面を増やし、市民の心と体が癒され、暮らしを豊かにしていくために、みどりの創出や活用に取り組みます。

- 課題
- 有機的なみどりのネットワーク構築
 - 公共施設のみどりの整備・管理
 - オープンスペースの活用
 - 都市農業における地産地消の取組推進
 - 公園利用のルールの緩和や、市民農園の拡充などによる、みどりを活かす活動の機会の創出 など

基本方針4 まちづくりの多様な分野でみどりを活かし、健康なまちにする

… 多様な人が、多様な目的でみどりを舞台に活動し、みどりが多面的に機能することで、まちの基盤が構成されていくように、みどりのまちづくりに取り組みます。

- 課題
- みどりの多面的機能の発揮
 - 活用しやすいみどりの創出
 - 地域や社会課題の解決やまちの魅力アップにつながるみどりの活用
 - みどりを活用しやすい仕組みの構築 など

計画の数値目標

将来像に向けた達成状況及び施策全体の成果を測るため、数値的な目標指標を以下のように設定します。

なお、目標指標は、みどりのまちづくりについて、量の面と質の面の双方の達成状況を確認する一つの見方として、各基本方針に関連して設定します。

基本方針1 西東京市の特徴あるみどりを育む

関連する指標

指標	現状値	目標値
農地の総面積 ※担当課所有データ 【設定の考え方】	117.6 ha 令和4(2022)年12月時点 第3次西東京市農業振興計画で設定する目標に向け、関連する施策を推進することにより、面積の減少の抑制を図ります。	99.0 ha 令和15(2033)年度末時点
特徴のあるみどりの活用実績 ※担当課所有データ 【設定の考え方】	33 件/年 令和4(2022)年度末時点 市の事業での活用や市民、団体等の取組促進により活用頻度を増やします。	66 件/年 令和15(2033)年度末時点
保存樹木・保存樹林・保存生垣の指定状況 ※担当課所有データ 【設定の考え方】	872 本 19,783 m ² 7,618 m 令和4(2022)年度末時点	900 本 20,000 m ² 7,700 m 令和15(2033)年度末時点 関連する施策を推進することにより、指定状況の維持・向上を目指します。

基本方針2 みどりを支えたいと思う人を増やし、人の輪を広げる

関連する指標

指標	現状値	目標値
みどりのまちづくりにおける市民の活動量(公園管理協力会員(ボランティア)の総人数) ※担当課所有データ 【設定の考え方】	941 人 令和4(2022)年度末時点	1,400 人 令和15(2033)年度末時点 関連する施策を推進することにより、ボランティアの総人数の増加を目指します。

基本方針3 市民とみどりをつなげ、人々の心身を豊かにする

関連する指標

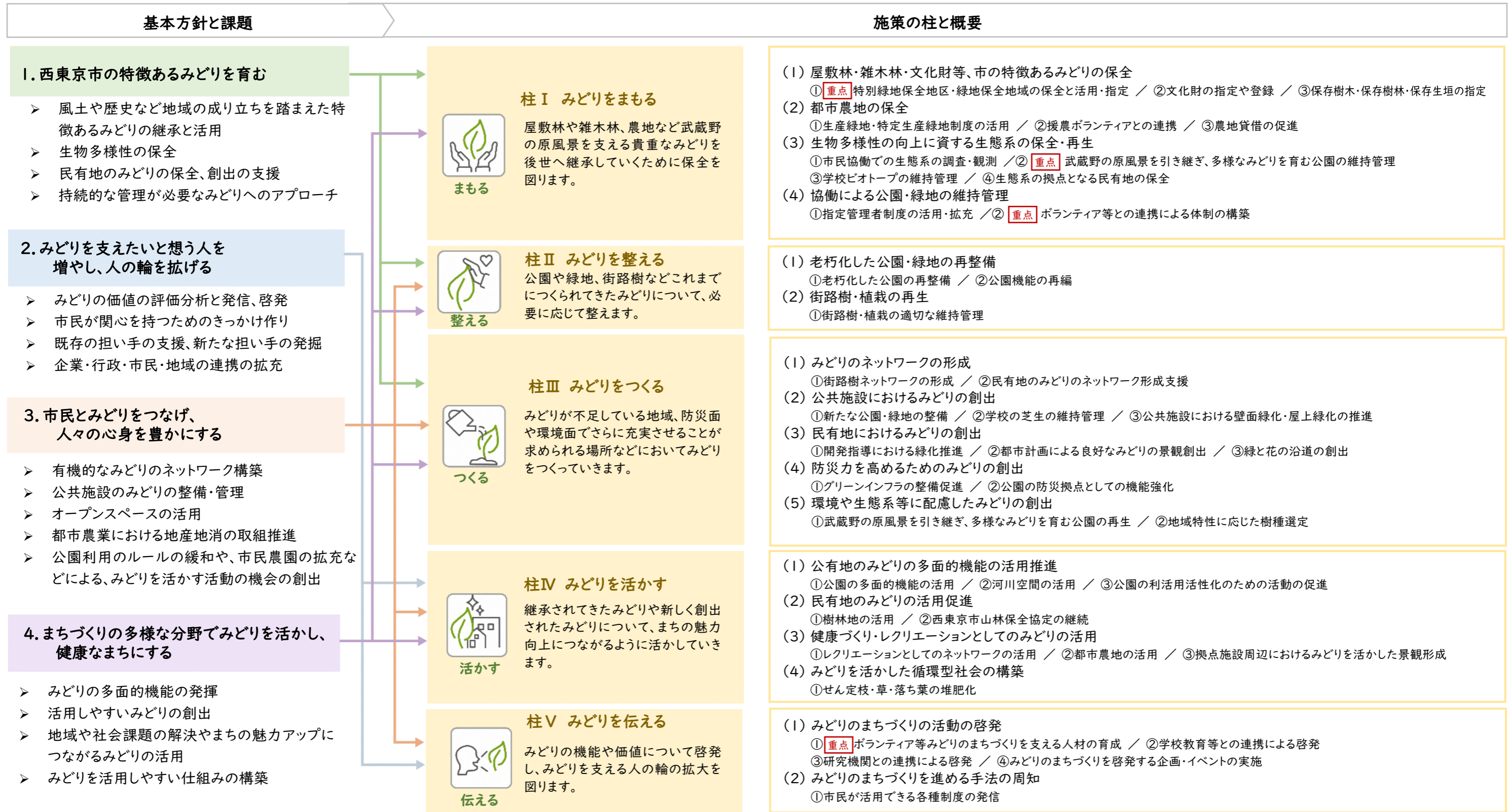
指標	現状値	目標値
市民や民間事業者等が中心となって管理する公園・緑地・オープンスペースの数 ※担当課所有データ 【設定の考え方】	76 か所 令和5(2023)年度当初時点	86 か所 令和15(2033)年度末時点 関連する施策を推進することにより、管理数を増やします。
市域に対する身近な公園の空白地区の面積割合 ※GIS計測 【設定の考え方】	21.1 % 令和4(2022)年度末時点	19.1 % 令和15(2033)年度末時点 公園の整備等により、公園の空白地区の面積割合の減少を目指します。

基本方針4 まちづくりの多様な分野でみどりを活かし、健康なまちにする

関連する指標

指標	現状値	目標値
緑被率・みどり率 ※緑被率調査 【設定の考え方】	緑被率 25.3 % みどり率 26.4 % 令和4(2022)年1月時点	緑被率 24.3 % みどり率 25.5 % 令和15(2033)年度末時点 関連する施策を推進することにより、緑被率・みどり率の減少の抑制を図ります。
「まちなかの自然(公園、農地等)が豊かである」と思う市民の割合 ※市民意識調査 【設定の考え方】	58.0 % 令和3(2021)年時点	60.0 % 令和15(2033)年度末時点 みどりのまちづくりの施策全般を推進することにより、市民の評価の向上を図ります。

施策体系



計画の推進に向けて

- ✓ 本計画を推進するにあたって、各種施策に取り組む前提として、協働体制の構築、財源の確保、計画の進行管理などに取り組みます。

■ 協働体制の構築

- ◇ 行政間の連携(国・都・市)
- ◇ 行政内の連携(庁内横断連携)
- ◇ 産学公民の連携(事業者・大学・市・市民)
- ◇ 国民の連携(市民・団体・事業者)

■ 財源の確保

- ◇ 民間との連携による効率的な事業の運営
- ◇ みどり基金や森林環境譲与税(森林環境税)・地球温暖化防止対策基金、都市計画税・都市計画基金の活用
- ◇ 多様な財源確保
- ◇ 効率的な行政運営

■ 計画の管理

- ◇ 計画進行における役割分担の明確化
- ◇ 計画の進捗の評価体制の構築
- ◇ 必要に応じた計画の見直し、再検討

地域別方針

市内全域を緑化重点地区として、緑地保全と緑化を積極的に進めます。
より地域に応じたみどりのまちづくり方針を示すため、市内を複数の地域に区分し、地域ごとの方針を示します。

ひばりが丘中学校地域

- 民間事業者と連携した魅力的な公園づくり
- 東大農場との連携



西東京いこいの森公園



東大農場

田無第二 中学校地域

- 本地域北部に集中する公園空白地区の解消
- 田無神社等の資源と一体となった歴史あるみどりの保全
- 防災機能を有する泉小わくわく公園の維持・管理
- 浸水想定の大い地域でのグリーンインフラの整備の促進



泉小わくわく公園

青嵐中学校地域

- 屋敷林・雑木林の保全と活用
- 白子川(暗渠)を軸としたみどりのネットワークの形成
- 新規公園の整備
- 農地の保全



保谷北町緑地保全地域



下保谷四丁目特別緑地保全地区

田無第三中学校地域

- フィールドミュージアムとしての西原自然公園の保全と活用
- 農地の保全
- 浸水想定の大い地域でのグリーンインフラの整備の促進



西原自然公園



(4) ひばりが丘中学校地域

(1) 青嵐中学校地域

(2) 明保中学校地域

(3) 田無第二 中学校地域

(5) 田無第三中学校地域

(9) 保谷中学校地域

(6) 田無第一中学校地域

(8) 柳沢中学校地域

(7) 田無第四中学校地域

明保中学校地域

- 碧山森緑地保全地域の保全
- 公園空白地区の解消
- 農地の保全
- 浸水想定の大い地域でのグリーンインフラ整備の促進



碧山森緑地保全地域



文理台公園

田無第一中学校地域

- 小金井(桜)や玉川上水等の歴史文化的な資源を活用したみどりのネットワーク形成
- 公園空白地区の解消



都立小金井公園

田無第四中学校地域

- 農地の保全
- 千川上水等の歴史文化的な資源を活用したみどりのネットワーク形成



玉川上水

柳沢中学校地域

- 都立東伏見公園の公園事業と石神井川の河川事業の促進
- 下野谷遺跡の活用促進
- 千川上水等の歴史文化的な資源を活用したみどりのネットワーク形成



都立東伏見公園

保谷中学校地域

- 街路樹ネットワークの保全
- 浸水想定の大い地域でのグリーンインフラの整備の促進



さくら公園

